

「正しい親 がんばり過ぎずに」 「いじめの連鎖」危機感も

母親ら30人に
高津区で講演



川崎市のNPO法人・フリースペースたまりば理事長の西野博之さん(52)の講演を聴く高津区子ども・子育て支援講座が23日、区役所であった。「ゆる親のすすめ」と題した話に母親ら約30人が聴き入った。

西野さんは30年近く、子どもや若者の居場所づくりにかかわってきた。最近の一番の心配事として「小中学生がホームレスの人を傘や石、花火で襲う事件が全国的に多発してい

る」と紹介。弱い者がさらに弱い者をいじめる「いじめの連鎖」への危機感を訴えた。

親が子に正しさや完璧さを求め過ぎると「家の中に正しさが充満し、子どもは自分の弱さにふたをする。その結果、家庭に怒りをため込み暴力やいじめの連鎖につながる」と指摘。「正しい親をがんばり過ぎないよう、ゆるく見守るくらいでちょうどいい」と語りかけた。